

車両25台抗ウイルス・抗菌

宗谷バス 無光触媒施工

乗客に安心・安全サービス

宗谷バス(株)(中場直見代表取締役社長)では23日から、新型コロナウイルス感染症拡大防止の一環で、同社が運

行する都市間、貸し切りバスあわせて25台の車内の抗ウイルス・抗菌施工を実施。車内の消毒や座席の間隔を空けるなど従来の感染対策に加え、利用者の安心安全な公共交通サービスの提供に努める。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、未だ移動の自粛などで公共交通機関全般の利用が減少傾向にある中、同社では利用者が安心できるよう、道内のバス会社では初となる無光触媒(リン酸チタン)を使った車内の抗ウイルス・抗菌化に取り組む。施工費用は同

社が負担のほか、国や稚内市の新型コロナウイルス感染症対策に係る助成を活用した。

無光触媒は暗所でも抗菌・消臭・防汚などの効果がある。VOC(揮発性有機化合物)の原因物質や硫化水素アンモニア、アセトアルデヒド等を分解し、空間等の大気浄化で有害菌の増殖を阻止し、細菌を激減させる。

抗菌施工の作業は専門業者が、バス車内の天井や窓などを特殊な洗剤で綺麗にしたあと、座席のシートをスチーム洗浄し、抗菌剤を車内全体に吹き付けた。

施工したバスは、2日ほど経過したのち運行することになっている。同社では10月上旬にかけて25台を整備する予定だが、状況に応じて増やす計画もあり、まずは長距離運行する都市間、貸し切りバスを優先的に行う。同社営業部の石橋徹副部長は「車内の抗菌化により、お客様が安心して利用できる環境整備に努めていきたい」と話す。(梅津真二)

るほか、防災食のカレーを食べるなどよい子達が防災について学ぶ。旗波で事故防止訴え

稚内市と稚内信金で23日、市役所前で街頭旗波作戦を実施。道行くドライバーに安全運転など呼びかけた。21日から始まった秋の全国交通安全運動の一環で行われたもの。稚内市や稚内信金、稚

内署から近江幸長が「市のない安らげる町にも協力い」などと、たあと、手に道路並び「スや「シ」などを訴

宗谷総合振興局では11日、16日に産業振興部所管の発注工事現場で労働災害防止に向けた工事現場安全パトロールを実施した。

労働災害防止

宗谷総合振興局 振興局 工事現場パトロール

農村振興水産課の管の工事時期を迎え労働災害防止に向けた工事現場安全パトロールを実施した。

稚内地方電送テレビ



宗谷バスの抗ウイルス・抗菌施工作業

市建友会 図書館へ消毒機 6冊を約30秒で除菌

稚内市建友会(富田伸司会長)では、市立図書館に図書消毒機1台を寄贈。23日に贈呈式が行われ、同館ではこれら有効活用すると感謝していた。

同会では、各地で新型コロナウイルスの感

染が拡がり、各業界で様々な悪影響が出ていることから、稚内のために何か出来ることはないかと市へ問い合わせたところ、多くの市民が利用する同館に消毒機が必要とされ、寄贈することを決めた。

この消毒機は、(株)エバーグリーン社による



図書館に寄贈した図書消毒機

と感謝していた。